

計画目標の達成状況を評価するための評価指標

評価指標		現況値（R4）	目標値（R10）
公共交通利用者数	町内全駅 1 日平均乗車人員	393 人	393 人
	高速バスの町内バス停 1 日利用者数	21 人	30 人
	予約制乗合バス 1 日利用者数	5 人	10 人
バス路線数		7 路線	7 路線
予約制乗合バス収支率		3 %	6 %
町負担額		22 百万円	現状負担額の 1 割増以下
公共交通の満足度		17.6 %	20.0 %
まちづくりとの連携強化支援度		—	2 件
地域の実情に合った地域交通の取組み		—	1 団体

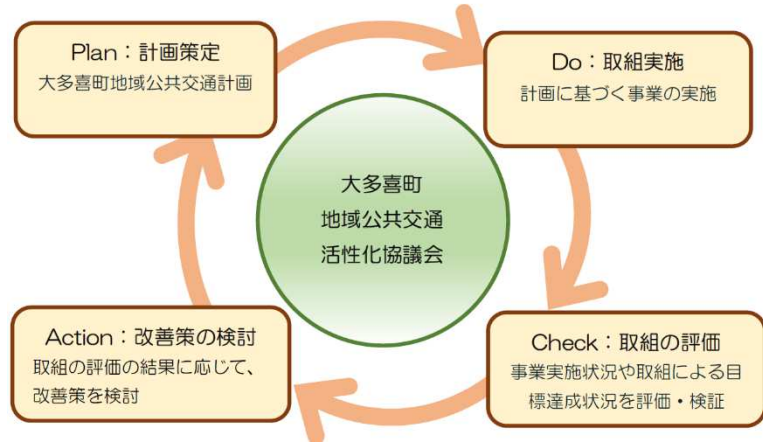
事業の評価・検証

本計画の実施にあたっては、役割分担を行いながら、行政・交通事業者・地域住民が連携・協働し、一体となって総合的に取り組むための体制づくりを進めます。

さらに、本計画を着実に推進するために、目標の達成状況や利用状況などを評価し、必要に応じて見直し改善するという「PDCAサイクル」に基づく評価・検証が重要なため、「大多喜町地域公共交通活性化協議会」が主体となって、計画上で定めた数値目標との比較だけでなく、公共交通の利用状況など各実施事業の成果も把握し、適宜評価を行います。

計画期間の最終年度（令和 10 年度）には、計画全体及び地域公共交通全体の評価・検証を実施し、必要に応じて計画の見直しを行うなど次期計画の策定を検討します。

■PDCAサイクル



◆問合せ

（大多喜町地域公共交通活性化協議会 事務局）

大多喜町 企画課 地域振興係

〒298-0292 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 93 番地

TEL：0470-82-2112 FAX：0470-82-4461

e-mail：kotsu@town.otaki.lg.jp

大多喜町地域公共交通計画～概要版～

計画策定の背景及び目的

大多喜町では、いすみ鉄道の駅や路線バスのバス停から遠い公共交通不便地区が散在すると共に、公共交通が運行している地区についても運行本数が少ないなどの課題を抱えています。

また、近年の急速な少子高齢化や人口減少、自家用車の普及、さらには新型コロナウイルス感染症の流行による交通需要の変化などにより、公共交通利用者の減少が続き、公共交通機関の維持確保が大変厳しい状況となっています。

このような状況を少しでも解消していくため、地域交通のマスタープランとして平成28年3月に策定した「大多喜町地域公共交通網形成計画」を引き継ぎながらも、昨今の社会情勢の変化を踏まえ、現在運行されているいすみ鉄道、路線バス、デマンド型乗合交通などと連携しながら、地域の実情に即した持続可能な交通の確保を図るため、「大多喜町地域公共交通計画」を策定することとしました。

計画の区域及び計画期間

●計画の区域

- ・大多喜町全域とします。

●計画期間

- ・令和6年度～令和 10 年度の5年間とします。

大多喜町における公共交通を取り巻く課題

課題1：地域間路線を維持確保するための地域内路線の充実

課題2：地域住民・来訪者等の二次交通の利便性確保

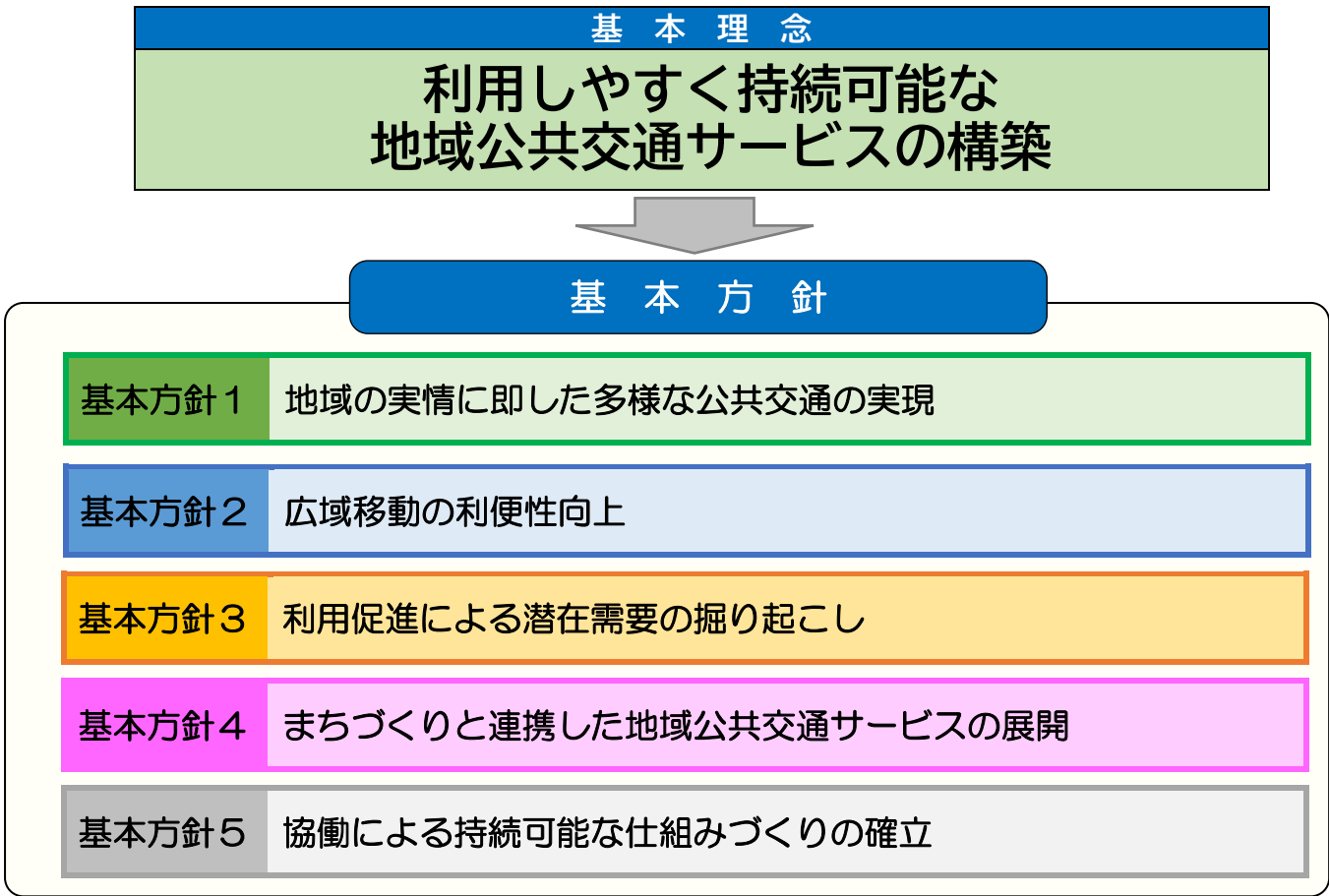
課題3：運転手不足や「改善基準告示改正」を考慮した効率的なネットワークの見直し

課題4：将来の自家用車の運転に不安を抱えている高齢者の足の確保

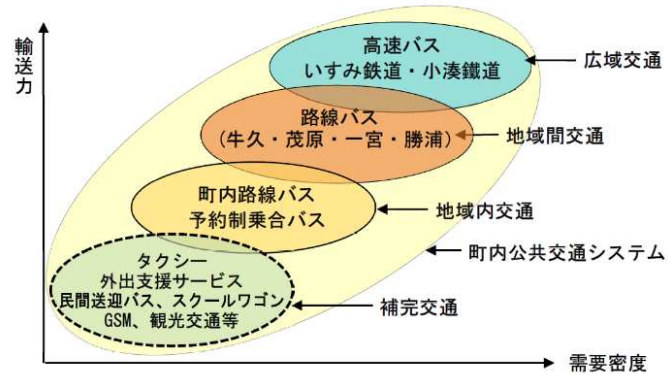
課題5：地方創生街づくりを支える交通結節点（大多喜駅等）の強化

課題6：持続可能な地域公共交通の維持・育成に向けた地域住民の協力と人材の育成

地域公共交通計画の基本的な方針・計画目標

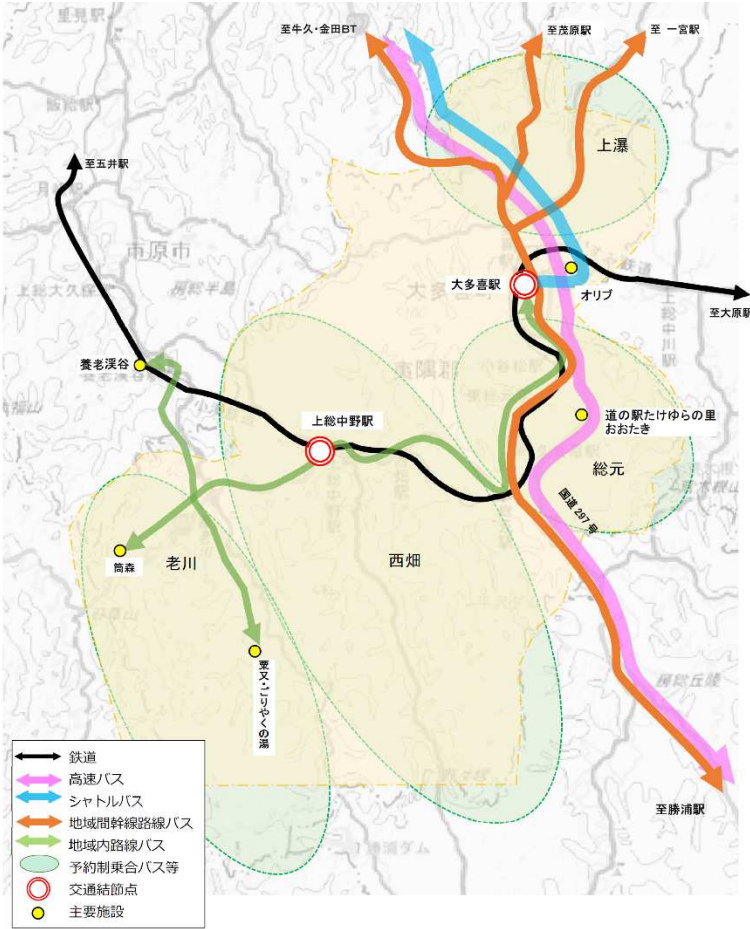


輸送力と需要密度との関係による町内公共交通の位置付け



区 分	役割分担
広域交通	○周辺都市、東京各方面へ連絡し、地域の骨格形成軸となる路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応
地域間交通	○周辺都市への連絡及び町内の骨格路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応
地域内交通	○広域交通に接続、地域間路線を補完 ○町内の拠点間へと連絡 ○地域の実情に合わせて主に高齢者の買い物、通院等の目的に対応
補完交通	○鉄道、バス交通等を補完し、主に高齢者などのために少量個別輸送を担う移動手段 ○地域の実情に合わせて主に買い物、通院等の目的に対応 ○観光二次交通としての機能整備
交通結節点	○上記交通システムの乗継拠点となる地域の各拠点における乗継環境機能を強化

地域公共交通ネットワークイメージ図



目標を達成させるための実施事業

事業No.	実施事業	事業の内容
事業 1-1	路線バスの維持・確保	○利用促進策の実施 ○地域間幹線系統補助の活用、町の補助 ○運転士確保支援の検討・実施
事業 1-2	地域の実情にあった予約制乗合バス等の継続運行	○周知活動の継続 ○運行内容の充実 ○乗合ワゴンの運行
事業 1-3	まちなか循環バスの導入	○まちなか循環バスの運行
事業 1-4	ファースト・ラストワンマイルにおける地域住民が主体的に係わる新しい交通システムの検討	○新しい交通システムの検討
事業 1-5	交通結節点の充実	○バスと鉄道の接続改善 ○乗継情報の提供
事業 2-1	高速バスの利便性向上	○高速バス連絡シャトルバスの運行、金田バスターミナルでの乗降実現
事業 2-2	高速バス停におけるパーク＆ライド駐車場、待合空間の整備	○パーク＆ライド駐車場の整備検討 ○バス停における待合空間の整備
事業 3-1	いすみ鉄道・小湊鐵道の利用促進	○利用促進活動 ○軌道安全輸送設備等の整備・更新
事業 3-2	既存公共交通機関の利便性向上策の検討・実施	○利便性向上策の検討・実施
事業 3-3	公共交通の総合的情報等の提供	○総合的情報等の提供
事業 3-4	公共交通を利用したモデルルートの提供	○モデルルートの提供
事業 3-5	意識啓発や醸成を促す利用促進活動	○利用促進活動
事業 4-1	商業・観光との連携	○割引サービスや企画切符の検討・実施 ○上総中野駅～粟又探勝バスの運行
事業 4-2	新モビリティサービス、先進的技術の活用	○新モビリティサービス、先進的技術の活用
事業 5-1	町民との適正な役割分担のもと、持続可能な公共交通とするための効果的な施策の検討	○仕組みの検討・実施